

# Q&A 決算審査特別委員会の質疑から

## 一部抜粋

**Q** ふるさと応援寄附金を増やすためには？

**A** 町外へ寄附された金額はどの程度か。また、わが町への寄附を増やすための方策は。

**ま** まちづくり課長

平成27年度は、約400万円が町外に寄附されている。9月1日から内容を一新し、ホームページのサイトもリニューアルしている。



**Q** 健康増進のための施策が必要では？

**A** 高齢化等により膨らみ続ける医療費を抑制するため、健康増進の取り組みが必要と考えるが、行政としての施策は。

**住** 住民課長

健康無関心層への戦略的健康づくりが必要。今後、国民健康保険制度改革の中で取り組んでいく。

**Q** 中学校ランチサービス利用者は増えた？

**A** 開始から1年が経過したが、利用者は増加したか。

**子** 子ども教育課長

利用者は増えていない。(27年度は23%程度)9月に実施するアンケート結果をもとに、よりよい方向にもってきたい。

**Q** 子どもたちをサポートする相談体制は十分か？

**A** スクールカウンセラー等による相談体制は充実しているか。

**子** 子ども教育課長

須恵町ではスクールカウンセラーを各校に1名配置。それに加え、スクールソーシャルワーカーを独自に配置しており、十分な対応ができていると考える。

**Q** スクールカウンセラー(SCC)子どもが抱える心の問題を改善・解決していく心理の専門家

スクールソーシャルワーカー(SSW)子どもを取り巻く環境による問題に対応し、家庭・学校・地域社会をつなぐ福祉の専門家

## 9月定例会 その他の議案

平成28年度一般会計補正予算  
1億6652万円を増額  
総額 92億4290万円  
(賛成多数で可決)

### 新制度に向け 公会計システムを導入

公会計制度システム導入委託料・保守委託料 298万円増額

今年度、公会計システムを導入し、平成29年度から複式簿記を取り入れた公会計の運用を開始します。

現在の「現金主義会計」に加え、「発生主義会計」を取り入れることで、減価償却費等のコスト情報や資産・負債の情報を、より正確に把握できるようになります。

※1 公会計 国や地方自治体の会計のこと

### 介護ロボット導入経費を補助

介護ロボット等導入支援特別事業費補助金 278万円増額

介護サービス事業所が介護ロボットを導入する際に、経費の一部を補助するものです。

※2 介護ロボット 介護をされる人の自立を助けたり、介護をする人の手助けをする装置



見守りセンサー



アシストスーツ (介護する人の身体負担を軽減する補助器具)

イラスト：経済産業省ロボット介護機器開発・導入促進事業研究基本計画より

### 第一小公共下水道化へ

下水道接続工事設計業務委託料 270万円増額

今年度、公共下水道の供用開始地区となったことに伴い、29年度に接続工事ができるよう、設計を委託するものです。

平成28年度公共下水道事業特別会計補正予算  
258万円を増額  
総額 11億8058万円  
(全員賛成で可決)

## 採決結果

須恵町立社会教育施設設置条例の一部改正	全員賛成で可決
須恵町ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部改正	賛成多数で可決
須恵町立認定こども園条例の一部改正	全員賛成で可決
平成28年度須恵町水道事業会計補正予算(第1号)	全員賛成で可決

## 平成27年度 決算審査

監査委員の意見書(要旨)  
財政運営の努力を評価



合屋監査委員 百田監査委員

審査の結果、予算の執行および関連する事務の処理は適正に行われているものと認められた。

### 硬直化が続く財政構造

経常収支比率は、85.5%と、前年度より1.5ポイント改善したが、依然として財政構造の硬直化は続いている。  
財政力指数は0.550と、若干上昇している。

### 町債残高は増加

27年度末の町債残高は63億2118万円で、26年度に比べ、3億7529万円増加している。

アザレア幼児園建設工事や施設の改修など、教育施設の整備充実を図る事業が

多く実施されたことが主な要因である。

### 基金の確実安全な運用を

財政調整基金積立額は、25億9418万円が確保されている。5年前に比べ3億円以上の増となっており、着実に積み増しているが、今後も確実安全な方法により運用することを望む。

### さらなる財政運営に期待

今後も、国・県の財政対策もうまく活用され、町独自のさらなる財政運営に努力邁進されることを期待する。

須恵町監査委員

百田清二  
合屋伸好

### 陳情 玄海原発事故への備えとして安定ヨウ素剤の町民への事前配布を求める陳情書

提出者

- ▷今を生きる会代表 小林 榮子
- ▷玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会代表 石丸 初美
- ▷プルサーマルと佐賀県の100年を考える会 共同世話人 野中 宏樹

賛成 1 ・ 反対 12



### 請願 陳情 の審査結果

請願 「少人数学級の推進」、「義務教育費国庫負担制度拡充」を国の関係機関に求める意見書提出に関する要請

提出者 松尾 昇  
紹介議員 児玉 求、合屋 伸好

賛成 3 ・ 反対 10



※1 経常収支比率…財政構造の弾力性を示す指標。比率が低いほど財政構造に弾力性があることを示す。  
※2 財政力指数…地方公共団体の財政力を示す指標。1に近いほど財源に余裕があるといわれている。